

活躍する中央OB・OG

総合学科 平成12年度卒 梅木寿也さん
【勤務先：庄内町立余目第一幼稚園】



Q1. 現在どのような仕事をしていらっしゃいますか？

余目第一幼稚園で、年中さん(4、5歳児)のクラス担任をしています。はじめて集団生活をする子どもも多いので、「お友だちづくり」に力をいれています。最初はひとり遊びしかできない子ども「お友だち」と仲良く遊べるようにいろいろ工夫します。幼稚園ははじめて「人間関係を学ぶ」大切な場所です。また、最近の子どもはなかなか屋外で遊べないので、身体を使って遊ぶことに力を入れています。

Q2. 仕事上で、大変なことは何ですか？

私は体力には自信があるのですが、それでも体力的にきつい仕事だと思います。それから大変という訳ではありませんが、保護者の方との連携が大切だと思います。子どもの教育の主体は保護者の方で、保護者の方々の教育を支援していくというのが私たちの仕事です。いろいろなお考えの方がいるので勉強になります。一方、幼稚園は小学校への橋渡しでもあるので、お弁当を残さないようにとか、ハンカチ・ちりがみを持ってきてくださいとか、基本的な生活習慣についていろいろお願いしなければいけないこともあります。普段から保護者の方との連携を密にとっていなければうまくいきません。

Q3. 幼稚園教諭になろうと思ったのは何故ですか？

私は高校3年までは、老人福祉の仕事に進もうと考えていました。しかし、高校3年の夏にオープンキャンパスで行ったのが、たまたま介護福祉士と保育士の両方の資格がとれる学校で、保育の仕事について考えるようになりました。私の住んでいる庄内町(旧余目町)には男の幼稚園教諭や保育士がいないという話を聞いて、自分がなってみようと思いました。

Q4. 中央高校時代はどんな高校生活でしたか？

バスケット部で3年間、がんばりました。それから友達にも恵まれました。総合学科は男子が少なかったため、クラスを越えて連帯感のようなものがあって、楽しかったですね。その頃の友人とは今でもつきあいが続いています。

Q5. 高校時代の経験で現在役に立っていることは何ですか？

まず、体力と挨拶。これは一生の宝です。それから、高校時代から回りに女性がたくさんいたので、女性が多い職場でもやっていけるのではないかと考えてます。

Q6. 保育士をめざす後輩にアドバイスをお願いします。

ただ漠然となりたいと思うのではなく、具体的に行動すべきだと思います。いろいろ情報収集したり、オープンキャンパスに行ったり、ボランティアに行ってみたり、積極的に動いて見てください。やってみなければ、自分が何に向いているかも分からないと思います。

部活動紹介 茶道部 和気藹藹

2年 伊藤 美郷

私たち鶴岡中央高校茶道部は、いつも笑顔が絶えず、おいしいお茶とお菓子を心から楽しんでます。茶道というと「難しそう」「厳しそう」「堅苦しそう」という印象を持つ人も少なくないようです。本当は、茶道はとても楽しいものです。それだけではなく、学ぶことがたくさんあります。

点前をしていて手順を間違えることがあります。そんな時、以前なら自分で気付くことはありませんでしたが、最近では周りの人に質問し、自分でやりなおすことができるようになってきました。茶道部に入部して集中力と冷静に周りを見ることの大切さを学びました。

本校茶道部は裏千家の中村宗寛先生のご指導を受けることができる唯一の茶道部です。ぜひ茶道に興味を持ち、わが部のお茶会にお出でください。笑顔でお待ちしています。



編集後記

新しい年がスタートしました。2007年度もよろしくお願いたします。「時代は中央」第8号は、「ボランティア特集」や「課題研究発表会」などあまり他では知られていない本校独自の活動を取材しました。本校はボランティアに積極的に参加したり、保育や福祉の仕事をめざす生徒がたくさんいます。今後も本校ならではの特色を対外的にアピールしていきたいと思っております。

問い合わせ先 鶴岡中央高等学校
〒997-0017
山形県鶴岡市大宝寺字日本国410
TEL 0235-25-5724

ホームページアドレス <http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp>
メールアドレス kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp

広報担当：大隅 晃弘、佐藤 茂、井上 祐

明けましておめでとうございます！ 2007年スタート



6月30日、7月1日に学校祭
10月11、12日に球技大会が実施されました。

新生徒会執行部 活動開始 06年度 後期生徒会長 鈴木 降平

生徒会執行部の今年の抱負は、生徒を第一に考えた生徒会にすること、2大行事を盛り上げることで。私も、昨年の2大行事で感動した生徒の1人です。先輩方の活動する後ろ姿を見て2大行事を盛り上げ、とても難しく、大変な事だと感じました。今年は、私たちの番です。先輩方を見習いつつ、新しい事を取り入れていきたいと思っております。今年は、生徒会執行部一同「猪突猛進」の勢いで頑張っていきます。



時代は中央

発行 山形県立鶴岡中央高校
校長 山岸 文章

発行日 平成19年1月26日(月)

新人戦地区大会

アーチェリー
女子個人 菅原 利恵 第1位
女子サッカー 優勝 卓球女子 団体優勝
弓道 女子バドミントン 団体優勝
女子団体 第1位
女子個人 田中菜美 第1位
ヨット SH級SR 本間 綾乃 第1位

陸上
男子200m 矢内 駿平 第1位
男子走高跳 高橋 迪俊 第1位
男子円盤投 奥山 諒則 第1位
男子400mリレー 弁納琢磨 佐藤優太郎 菅原 祐人 矢内 駿平 第1位
男子1600mリレー 弁納琢磨 佐藤優太郎 川上剛史 矢内 駿平 第1位
女子砲丸投 松浦 絵湖 第1位

文化部の活動

吹奏楽
全日本吹奏楽コンクール田川地区大会 金賞
全日本吹奏楽コンクール山形県大会 銀賞
全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 銀賞

山形県高等学校総合文化祭

書道 入選
石川美世 早坂麻美 高橋亜由子 佐藤菜美 五十嵐有紀
華道 奨励賞

合唱
全日本合唱コンクール山形県大会高校の部 銀賞

山形県高校美術展

奨励賞 富樫美月 五十嵐みずほ
第9回内藤 秀因記念水彩画公募展
ロータリークラブ賞 門脇麻喜

新人戦県大会

アーチェリー 弓道
女子個人 菅原 利恵 第1位 女子団体 第1位
女子団体 第2位 女子個人 田中 菜美 第2位
女子サッカー
全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会山形県大会 第3位
東北高校アーチェリー選抜大会
女子個人 菅原 利恵 第1位
女子団体 ベスト8 菅原 利恵 佐藤千春 小林美咲

総合学科情報系列
山形県高校生徒商業研究発表大会
優良賞 山口愛香里 上田紫乃 緑川真衣子

家政学科系列(食物)
第2回職の甲子園山形大会 優良賞

普通科人文社会コース
島根県立大学短期大学部主催「わすれられない“におい”」コンクール
優良賞 安野歩 上野和成
佳作 大沼友樹 佐藤拓郎 長谷川好

ワープロ
山形県高校新人ワープロ競技会
団体 第3位
曾根和輝 木根淵優香 奥山かおる
個人2位 曾根和輝
正確賞 奥山かおる

「ボランティア王国」鶴岡中央

本校のボランティアについて

知られざる事実ですが、本校にはボランティア活動に取り組んでいる生徒がたくさんいます。その活動は質、量ともに庄内NO.1であると自負しております。また、学校全体の取り組みとして、11月1日(水)に全校生徒952名によるボランティア活動を行ないました。LHRの限られた時間の中で清掃活動(日頃お世話になっている学校周辺地域のごみ拾い)でしたが、事後の感想文からは建設的で前向きな姿勢を実感することができました。



地域(校外)での高校生の活動はなかなか見えにくいものですが、鶴岡中央高校には、ボランティア活動を通して社会参加している生徒が大勢います。部活動の一環として施設訪問に取り組んでいる人、学校の枠を超えて地域を単位とした青少年ボランティアサークルの活動に参加している人、生徒会活動の一環としてアルミ缶回収に取り組んでいる人など、さまざまな分野やスタイルで活動しています。活動に参加している人からは「様々な活動を通じて多くの人たちと出会えた」「仲間づくりや地域づくりができた」「他人を思いやる余裕ができた」「“ありがとう”と声を掛けてもらった時、とても嬉しかった」、「ボランティアはしてあげているのではなく、させていただいているのだとわかった」など、体験を通して多くの感想を聞くことができました。今後もこのような生徒の活動を生徒課として支援していきたいと思ひます。

素敵な音楽ボランティア

私たち吹奏楽部では、音楽ボランティアに力を入れています。今年度は、11月3日に慈丘園を、11月11日に新形保育園を訪問演奏しました。慈丘園は知的障害者の福祉施設で、演奏するのは初めてだったので少し緊張しました。しかし、施設の皆さんのうれしそうな顔を見ていたら緊張もほぐれ素敵な演奏会になりました。私たちの演奏に歌い出したり、踊り出したりする人も現れ、そのストレートな反応にびっくりしました。最後に花束や手作りの首飾りをいただきました。言葉にならない言葉で一生懸命にお礼をいう施設の方を見たときには涙が出るくらい嬉しくて、本当に訪問してよかったと思ひました。

新形保育園では、土曜日ということもあって0歳から5歳までの子どもたちでした。楽器紹介では、子どもたちの驚いた表情や嬉しそうな表情がそれぞれ印象的でした。知っている曲には一緒に歌ったり、お遊戯をしたりと子どもたちの「ノリ」がよくて本当に楽しい演奏会になりました。やはり、音楽は素敵なものなのだ改めて実感しました。

最初はこちらが何かを「してあげる」つもりだったが、逆に私たちのほうが大きな贈り物を「もらった」ような気がします。このような素敵な演奏ができるように今後も頑張っていきたいと思ひます。

吹奏楽部 2年 佐藤 絢音



訪問演奏を通じて得たこと



私たち合唱部は、10月に二つの老人福祉施設、11月に二つの保育園で訪問演奏を行いました。老人福祉施設では、利用者の方に楽しんでもらえるように、昭和の時代を感じさせる「川の流れるように」や「見上げてごらん夜の星を」などを中心に演奏しました。私たちの歌に拍手をしたり、涙を流して下さる姿を見て、逆に私たちも感動しました。また、歌を歌うことの素晴らしさを感じ、部員一人ひとりの部活動に対する意識の向上ができたと思ひます。

保育園訪問では、テレビでおなじみの『忍たま乱太郎』や『日本昔話』のエンディング、映画『となりのトトロ』から「さんぽ」などの曲を歌いました。保育園では歌うだけではなく、踊りや園児との音遊びも取り入れて、曲紹介も園児に話しかけるように工夫して発表しました。また、踊りに使うボンボンやプログラムの製作にも部員全員で取り組みました。園児や保育士さんはもちろん、私たちも楽しんで歌うことができました。

今回の訪問演奏を通して、みんなで一つの音楽を創ることの楽しさを感じることができ、とても良かったと思ひます。また、大きなステージとは違った、聴く人の反応が身近に感じることもできました。今回の活動を忘れずに、今後も楽しく活動していきたいと思ひます。

合唱部 2年 伊藤 有結花

地域ボランティアに参加して

私は庄内町の高校生ボランティアサークル「ピッコロくらぶ」に所属しています。はじめは暇つぶしでやりたいみたいな軽い気持ちで入ったのですが、今ではボランティア活動がとても楽しく突然の依頼でもほとんど参加しています。現在「ピッコロくらぶ」は少人数のサークルなので、他のサークルの人たちと協力して様々な地域の行事に企画から取り組んでいます。

このような活動で地域の多くの人たちと交流が深まって、本当に楽しいです。私たち高校生は中学を卒業するとなんとなく地域から離れてしましますが、地域のためにやれることはたくさんあるんだと実感しました。わいわい楽しくできて、かつ誰かの役に立つというのはボランティアならではの醍醐味で、充実感もあります。もっと多くの人にこの楽しさを知ってもらえるように呼びかけ仲間を増やしていきたいと思ひます。

ボランティア部の活動について

ボランティア部では、昨年度からインターアクトクラブの活動が再開し、スポンサークラブとなる鶴岡西ロータリークラブのご支援をいただきながら、様々な活動を行っています。社会福祉施設や鶴岡市のボランティア行事への参加、日常の校内活動としてはカード作り、手話教室などを行っています。

8月上旬に開催されたインターアクト年次大会は温海校がホスト校ということで、私たちは協力校という形で参加することになりました。環境について“自分一人だけでは無意味だ”、ではなく、“自分一人でも行動していかなければならない”という思いを強くしました。

今回の経験を今後に生かし、そして、今まで以上に地域に溶け込んで、積極的な活動を展開していきたいと思ひます。

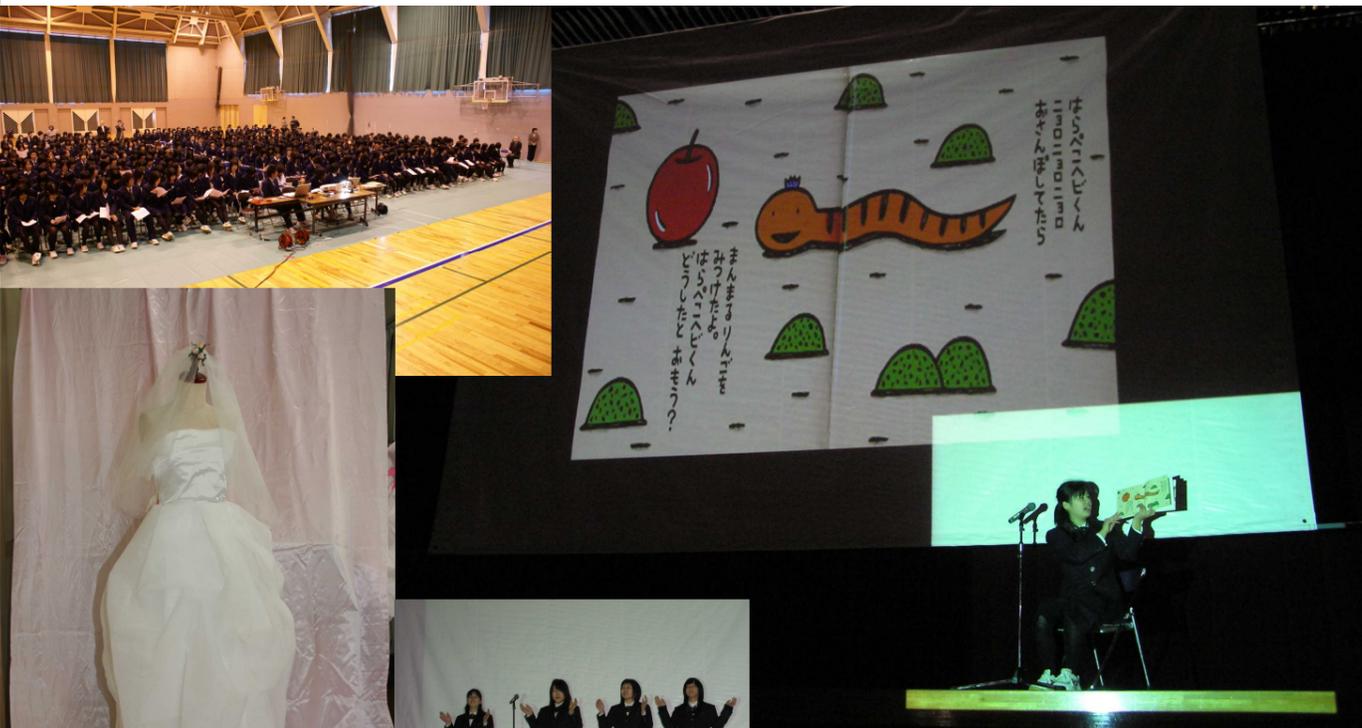
鶴岡中央高等学校 2年 園部 謙



専門性の高かった「課題研究発表会」

平成18年度「課題研究発表会」が本校体育館を会場に、12月15日に開催された。「課題研究発表会」は総合学科の生徒が自らテーマを設定し1年以上かけて研究した「課題研究」をプレゼンテーションするものである。各講座から選ばれた者だけに許される総合学科の「晴れの舞台」でもある。総合学科の「情報科学」「国際交流」「美術デザイン」「家政科学」「社会福祉」の5系列を中心とした12の講座に、「山形県総合学科高校発表交流会」「山形県生徒商業研究発表大会」で発表した生徒も加え、14の発表グループが8分間の持ち時間でプレゼンテーションを行った。

今年度から普段の授業を踏まえて課題テーマを設定するようになったため、専門性の深い高度な発表が多かった。「ウエディングドレスについて」と題して流行を踏まえた上で自ら「ウエディングドレス」を自作した家政系列の発表、「子どもと音楽」と題して「手遊び歌」を自作自演し、「絵本」を読み聞かせをした家政系列の発表など、総合学科ならではのすばらしい発表会となった。



平成18年度課題研究発表会発表者一覧

講座名	研究テーマ	発表者		
国際交流	庄内産んだ特産物 -新健康的なお菓子を生み出す-	3	年 5	組 菅原 くらみ
情報科学	携帯電話について -歴史・現状そしてこれから-	3	年 8	組 高橋 直起
情報科学	山形県の今度の農業経営について	3	年 8	組 丸山 翔子
美術・デザイン	All my design -自分だけの本をつくる-	3	年 5	組 板垣 裕香
美術・デザイン	色が与える人の印象	3	年 8	組 五十嵐 のぞみ
家政科学	ウエディングドレスについて -流行傾向と制作-	3	年 7	組 岡田 まどか
家政科学	大豆 -隠された秘密を探る-	3	年 8	組 池田 沙弥香
家政科学	子どもと音楽 -手遊び歌を通して-	3	年 5	組 梅津 明日香
社会福祉	認知症について	3	年 6	組 難波 由早
社会福祉	アニマルセラピー -癒しの効果-	3	年 6	組 齋藤 晴香
総合	うつ病について	3	年 8	組 金野 祐奈
総合	絵食について	3	年 7	組 大沼 早希
特別発表	山形県総合学科高校発表交流会 鶴岡中央高等学校 総合学科と社会福祉系列の特色	3	年 6	組 神山 絵理香 中鉢 真実 佐藤 隆博 本間 成美 難波 由早 萬年 彩
特別発表	山形県生徒商業研究発表大会「優秀賞」 コミュニティ・ビジネス -「モエティ」・「ビジネスの意味と新しいビジネスの提案」-	3	年 5	組 山口 愛香里

1日総合大学2006 in 鶴岡中央

平成18年7月5日、鶴岡中央高校では「1日総合大学2006 in 鶴岡中央」が開催された。この「1日総合大学」は生徒の進路意識を明確にさせるために行われ、今回で3回目を迎えている。今回も様々な専門分野から25名の先生をお招きして、午前と午後の2回にわたって約90分の講座を受けた。生徒は進路や興味関心に各自そって講義の選択をしているため、積極的に質問を行う場面も多くみられた。

ようこそ中沢けい先生 中央高校版Author Visit

2006/7/5 16:00-17:00
学習センターにて

一日総合大学で法政大学文学部日本文学部の教授で作家の中沢けい先生が来校されることになり、この貴重な出会いを逃すまいと学習センター委員会では中沢けい先生を囲んでお話を聞きました。飛行機の時間を気にしながらも、次々と語られる魅力的なお話とサイン会、楽しいAuthor Visitとなりました。

